SUPERBIKE EXPRESS--

EXtra, EXpert and EXtreme

JSB1000 All Japan Road Race Championship

QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

SUGO SUPERBIKE 120 miles ENDURANCE RACE

ウエットの激しいアタック合戦を制した中須賀克行がポールポジション！ 柳川明、高橋巧、津田拓也も肉薄！

全日本ロードレース選手権はシリーズ4戦目を迎えた。舞台となるのは宮城県・スポーツランドSUGO。ここ数年、8月末に行われてきたが、今年は6月末の開催となった。昨年、初めての試みで100マイルのセミ耐久で行われ、トップ3が最終ラップまで接戦を繰り広げ、これを中須賀克行が制したのは記憶に新しいだろう。今年は、120マイルとさらに距離が伸び、テクニカルなスポーツランドSUGOを52周という長丁場で争われる。今年もライダーは1名から2名を登録できるが、トップチームは、ほとんどがライダー1人で臨む予定をしている。

ドライコンディションとなった金曜日は、中須賀が1分27秒943でトップタイムを記録。これに暫定ランキングトップの高橋巧、渡辺一樹も僅差で続いていたが、土曜日の公式予選は一転しウエットコンディションとなった。今回は1時間の計時予選で争われたが、セッション終盤のタイムアタック合戦は、見応えのあるものだった。

セッション序盤から中須賀がリーダーボードのトップに立っていたが、終盤になると中須賀が引っ張っていた野左根航汰がトップに立つ。その後、柳川明がトップに立つが、プッシュした中須賀が再逆転し、ただ一人1分36秒台に突入する。その後、ヨシムラの津田拓也もセクター1で赤マークを点け、自己ベストを更新する走りを見せるが、最後のシケインで遅いマシンに引っかかってしまう。それでも4番手タイムとなっただけに、もし引っかかっていなかったらポールポジションタイムに肉薄していたはずだ。

「前に（遅いマシンが）見えていましたが、何とか引っかからないでいけるかと思ったのですが、急激に差が詰まってしまいシケインの中で引っかかってしましました。コンマ4秒ぐらいロスしているのでタラレバですが、ポールポジションを獲れたかもしれませんね。ル・マン式スタートなのでダメージは少ないですが悔しいですね」と津田。

ポールポジションは、開幕戦鈴鹿以来となる中須賀が獲得。柳川が2番手となり、3番手にセッション終盤にタイムを上げた高橋が食い込んだ。4番手に前述の通り津田がつけ、ウエットで積極的な走りを見せた野左根が5番手につけている。

2年前のSUGOラウンドで優勝を飾っている加賀山就臣は6番手タイムを記録。今シーズンは、新たなパッケージとなったが、ここまでの3戦は本来の走りができていない状況だ。今回はウエットコンディションとなったことで、トップとの差は縮まっているものの、優勝を狙うのは難しそうだ。それでもコンディション次第では、世界で活躍してきた実力を見せてくれるかもしれない。

また、一時は上位につけていた山口辰也は、セッション終盤にマイナートラブルが発生し、アタックできずに終わっている。インフィールドでは、抜群の速さを見せているだけにトップ争いに加わってきそうだ。

レース序盤は、誰がレースを引っ張って行くかが注目だろう。長丁場のレースだけにピットインする前は、ライバルの動向を見極めながらの駆け引きがあるはずだ。体力の温存のためペースを落とせば10台近いマシンがトップグループを形成することも考えられる。天気予報では、日曜日はウエットレースとなる可能性が高いだけに、体力的には、ドライよりは楽となるだろうが前車の巻き上げる水しぶきで視界を遮られることでドライ以上の集中力が必要となる場合もある。序盤から逃げるライダーが出てくれば、レース展開も荒れてくるはずだ。

しかし、いずれにせよピット作業後のポジションが重要であり、ピットワークも重要なファクターとなってくる。今年はエアツールの使用が解禁されただけに、各チームのピット作業にも注目したいところだ。

長く厳しい戦いが予想されるSUGOスーパーバイク120miles耐久レースのウイナーは!?

（佐藤寿宏）

予選2番手／柳川明

予選3番手／高橋巧

予選4番手／津田拓也

予選5番手／野左根航太

POLE POSITION INTERVIEW

JSB 1000 All Japan Road Race Championship

ポールポジション：1'36.779
#1　中須賀 克行
ヤマハYSPレーシングチーム

『セッション序盤は、タイヤの確認を行ったのですが雨量が少ない状態でハードタイヤを試したら合わなかったので、ピットインしてミディアムに履き替えるとフィーリングがよくなりました。事前テストは雨量も多かったのですが、予選の状況では、リズムよく速いタイムを刻めています。終盤にプッシュして、しっかりタイムを上げられましたし、タイヤのライフも確認できたので、ドライでもウエットでも自信を持って走れています。ピットイン後は激しいバトルになると思うので、しっかりトップでゴールできるようにしたいですね』

SUGO SUPERBIKE 120 miles ENDURANCE RACE

SUGOスーパーバイク120マイル耐久レース スポンサー賞 ご協賛各社様（敬称略・順不同）

株式会社ホンダモーターサイクルジャパン　ヤマハ発動機株式会社　株式会社カワサキモータースジャパン
株式会社ブリヂストン　住友ゴム工業株式会社　株式会社オージーケーカブト　株式会社アクティブ

HONDA The Power of Dreams　YAMAHA　Kawasaki
BRIDGESTONE　DUNLOP　Kabuto　ACTIVE Rev and Ride It !

J-GP3 All Japan Road Race Championship

QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

大久保光が初のポールポジション!!「決勝レースはチームの初優勝を狙います!」

朝降った雨で濡れていたコースは、セッション開始までにどうにか乾き、ドライ路面となったこの日最初のJ-GP3公式予選。序盤は大久保光、山田誓己、伊達悠太、水野涼、中山翔太、岩戸亮介、古市右京らがモニターの上位を占める。40分のセッション、序盤のアタックでは、大久保が1分35秒983でトップ、山田が36秒152で2番手。

セッション後半のアタックでは、モニター上の順位が目まぐるしく入れ替わっていく。まずは古市が35秒861をマークして2番手に浮上。大久保が35秒396でさらにタイムアップする。山田、伊達もタイムを削り、小室旭が36秒1、鳥羽海渡も36秒3まで上げてきた。

終盤にかけてさらに激しくなるタイムアタック、山田が35秒2でトップに立つが、大久保が34秒661で逆転すると、さらに最終周回で34秒605まで更新し、ポールポジションを決めた。山田も35秒040までタイムアップし2番手、3番手には伊達、セカンドロウは古市、岩戸、水野となった。

ポールポジション:1'34.605
#3　大久保 光
HotRacing

『走り始めはドライでしたが、いつ雨が落ちてくるか分からなかったので、まずは路面の状況を確認して、常にリーダーボードの上の方にいるようにしました。残り15分でリアタイヤを変えてコースインすると、いいポジションを取れたので“ここでタイムを出せないと、また2、3番手になってしまう”と思い、プッシュしてポールポジションを獲ることができました。どんな天候になろうとライダーのやる仕事は一緒。ホットレーシング初優勝を目指して頑張ります』

J-GP2 All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

井筒仁康、最後に大逆転でポールポジション!!「絶対的な自信があるから雨でも結果を出したい」

ポールポジション: 1'38.382
#77　井筒 仁康
Will-RaiseRacingRS-ITOH

『前戦のもてぎラウンドでは、100%に近い走りができたにも関わらずライバルに比べるとマシン的に厳しい部分があったのでポテンシャルアップするために新しいフロントフォークを投入することをメインスポンサーのWill-Raiseさんに無理を言ってお願いしました。二つ返事でOKしてくれたので、本当に感謝しています。事前テストには間に合わず、今回ぶっつけとなりましたが、いいフィーリングでした。ウエットコンディションには絶対的に自信がありますし、バイクがコントロールに範囲になることは確認できています。ポールポジションを獲得できたので、応援してくれる皆さんのためにもレースでもトップでゴールしたいですね』

さらにヘビーレインとなった全日本最後となるJ-GP2の公式予選。セッション序盤は40秒748で井筒仁康がトップをキープ。序盤から中盤に向けて雨はいよいよ激しくなり、タイムはなかなか上がらない。前半を終えた順位はトップが井筒、40秒8で高橋裕紀、星野知也が40秒985、亀谷長純が41秒294、デチャ・クライサーが41秒333で続く。

それでも終盤に入ると雨を攻略したライダーがタイムアップを果たし、続々とトップを入れ替えるパフォーマンスを見せた。亀谷、生形秀之、井筒とトップが入れ替わる中、高橋が39秒787に入れてトップに浮上。しかし、その直後に亀谷が39秒346へとタイムアップ、再びトップに浮上した。チェッカーが降られ、ここまでかと思った次の瞬間、井筒が全計測セクションでベストタイムを更新、38秒382のタイムで見事ポールポジションを獲得した。

2番手はこちらも最終周回にタイムアップした生形が39秒004で獲得、3番手に亀谷、高橋、浦本修充、小山知良と続く。

ST600 All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

近藤湧也が初めてのポールポジション!!「得意なSUGOのレースで必ず結果を残したい」

ポールポジション:1'31.537
#14　近藤 湧也
GBSレーシング・YAMAHA

『雨の状況が分からなかったので早めに出ていきました。クリアラップも取れましたし、うまく1周まとめることができたのでポンとタイムを出すことができました。その後、雨が降りラッキーな形ですが、SUGOは得意なコースですし、レースでもぜひ結果を残したいと思っています。スタートで前に出られれば逃げたいですが、そう甘くはないと思っています。ただ、雨の練習もしているので決勝も予選と同じ順位で終わりたいですね』

ST600クラスの公式予選セッションは、開始直後に降雨で赤旗が提示される。まったくの仕切り直しとなったセッションでは早々に1分31秒786をマークした小林龍太がトップに立った。2番手以降は近藤湧也、國川浩道、横江竜司、日浦大治朗、チャランポン・ポラマイらがタイムを塗り替えていく。4周目には近藤が31秒537をマークしてトップを奪った。

その後、金曜日の練習走行でトップタイムをマークしていた岩崎哲朗が徐々にタイムアップ。32秒4で5番手に食い込むと、続く周には31秒615まで更新して2番手に一気にジャンプアップしてきた。

しかし、ここで突如として強風と共に降り出した大粒の雨が一気にコースを濡らし、各車とも走行を中断。このままの順位でグリッドが決定した。

ポールポジションは初となる近藤で1分31秒537、2番手には岩崎、続いて小林。2列目は32秒116で横江、32秒381の國川、32秒529で日浦の順となった。

Text : Toshihiro Sato & SUPERBIKE.JP / Photo : Hiroyuki Wakita & Toshihiro Sato / Issued by SUPERBIKE.JP

MFJ Superbike Round4 SUGO SUPERBIKE 120 minutes ENDURANCE RACE 28 - 29 June 2014 公式予選結果

JSB 1000

●予選：天候／晴　路面／ドライ　出走25台
●決勝スタート／13:10（52周-120miles/194km）

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	中須賀 克行	ヤマハYSPレーシングチーム	YZF-R1	1'36.779
2	87	柳川 明	TeamGREEN	ZX-10R	1'37.041
3	634	高橋 巧	MuSASHi RTハルクプロ	CBR1000RR	1'37.061
4	12	津田 拓也	ヨシムラスズキシェルアドバンス	GSX-R1000L4	1'37.172
5	31	野左根 航汰	NTSチームノリックヤマハ	YZF-R1	1'37.229
6 ※2	71	加賀山 就臣★ 武田 雄一	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	1'37.903
7	104	山口 辰也★ 國川 浩道	TOHORacingwithMORIWAKI	CBR1000RR	1'37.919
8	1	出口 修	シナジーフォースTRICKSTAR	ZX10-R	1'38.327
9	26	渡辺 一樹	TeamGREEN	ZX-10R	1'38.377
10	33	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R1	1'38.703
11	85	中冨 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R1	1'39.206
12	78	井上 哲悟★ 東村 伊佐三	桜プロジェクトPITCREW&松戸F	ZX-10R	1'39.517
13	11	吉田 光弘	Honda熊本レーシング	CBR1000RR	1'40.033
14	13	須貝 義行	チームスガイレーシングジャパン	1199PanigaleR	1'40.810
15	135	寺本 幸司	Team Tras 135HP	S1000RR HP4	1'40.987
16	16	中村 知雅	チーム トモマサ	CBR1000RR	1'42.668
17	41	清水 祐生	浜松チームタイタン	GSX-R1000	1'44.208
18 ※1	77	筒井 伸★ 三浦 和男	DOGFISHオーテックスズカ	CBR1000RR	1'44.853
19	46	掛江 裕二	TEAM☆STRADA	F4-1000RR	1'45.087
20	30	井上 健志	炎R	CBR1000RR	1'45.407
21	73	菊地 敦 奈須 勉★	WILD☆HEART+奈須鈑金	CBR1000RR	1'46.092
22	18	原田 洋孝★ 中山 智博	RS-ガレージハラダ姫路	ZX-10R	1'46.834
23	83	喜多田 学	㈲成田総合TS関東+ストラトス	1199Panigale	1'51.405

------- 以上予選通過 -------
予選通過基準タイム（115%）1'51.504
※1 No.77の車両は、大会特別規則第6章第18条1）違反によりスターティンググリッド最後尾のペナルティが科された。
※2 No.71の第2ライダー武田雄一選手は、大会特別規則第6章第18条2）の規定により、予選通過基準タイムを満たしていないため、決勝への出走は認められない。
★印はベストタイムをマークしたライダー

J-GP2

●予選：天候／雨　路面／ウェット　出走21台
●決勝スタート／15:00（20周）

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	77	井筒 仁康	Will-RaiseRacingRS-ITOH	ZX-6R	1'38.382
2	2	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	GSX-MFD6	1'39.004
3	73	亀谷 長純	MuSASHi RTハルクプロ	NH6	1'39.346
4	72	高橋 裕紀	MORIWAKI RACING	MD600	1'39.442
5	634	浦本 修充	MuSASHiRTハルク・プロ	HP6	1'40.075
6	71	小山 知良	NTST.ProProject	NH6	1'40.082
7	7	Decha KRAISART	Yamaha Thailand Racing Team	TYM-R6	1'40.681
8	46	星野 知也	SYNCEDGE 4413 Racing	HP6	1'40.836
9	47	渡辺 一馬	テルル&EM★KoharaRT	KALEX	1'41.124
10	392	長尾 健吾	ミクニ テリー&カリー	GSXR600	1'41.184
11	44	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	TSR2	1'41.496
12	19	中本 翔	リリカAMENA with OUTRUN	YZF-R6	1'41.956
13	51	高橋 英倫	桜プロジェクトPITCREW&松戸F	MZX-6R	1'42.083
14	13	大木 崇行	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'43.393
15	5	岩田 悟	NTST.ProProject	NH6	1'44.682
16	15	中村 豊	CLUB MOTO BUM	CBR600RR	1'46.044
17	11	佐藤 太紀	TEAM PLUSONE	TSR2	1'46.885
18	21	小口 亘	ALLMAN&OWRACING	YZF-OWR6	1'47.967
------- 以上予選通過 -------					
	※16	赤間 清	ミストレーサwithHARC-PRO	HP6	1'48.354
	※79	朝比奈 正	アサヒナレーシング	Z600	1'48.980
	※26	小口 理	ALLMAN&OWRACING	YZF-OWR6	1'49.603

予選通過基準タイム（110%）1'48.220
※ No.16、No.79、No.26の車両は、嘆願書の提出により決勝レースの出走が認められた。

ST 600

●予選：天候／雨　路面／ウェット　出走38台
●決勝スタート／11:05（20周）

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	14	近藤 湧也	GBSレーシング・YAMAHA	YZF-R6	1'31.537
2	7	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'31.615
3	24	小林 龍太	ミストレーサwithHARC-PRO	CBR600RR	1'31.786
4	2	横江 竜司	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'32.116
5	104	國川 浩道	TOHORacingpwdbyモリワキ	CBR600RR	1'32.381
6	18	日浦 大治朗	Honda鈴鹿レーシング	CBR600RR	1'32.529
7	65	Chalermpol POLAMAI	Yamaha Thailand Racing Team	YZF-R6	1'32.675
8	33	岡村 光矩	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'32.733
9	76	伊藤 勇樹	Petronas.Hong Leong Yamaha	YZF-R6	1'32.784
10	69	津田 一磨	WestPower SUZUKI	GSX-R600	1'32.929
11	12	篠崎 佐助	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'33.058
12	20	中山 真太郎	TEAMしんたろうwithKRT	CBR600RR	1'33.197
13	29	豊田 浩史	D;REX Racing Triumph	DAYTONA675R	1'33.330
14	21	中津原 尚宏	研友会栃木PGR+ATS	CBR600RR	1'33.391
15	6	稲垣 誠	AKENO・SPEED・MIC	YZF-R6	1'33.933
16	61	新庄 雅浩	ExpressHOUYOU with AUTOBOY	CBR600RR	1'34.098
17	64	矢田 栄一朗	RT OutRun	YZF-R6	1'34.120
18	45	石塚 健	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'34.220
19	56	前田 恵助	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	1'34.515
20	51	宗和 孝宏	51ガレージチームイワキ	YZF-R6	1'34.584
21	99	渡部 裕貴	RT森のくまさん佐藤塾	YZF-R6	1'34.663
22	97	佐野 優人	SRSJwithMORIWAKI	CBR600RR	1'34.894
23	82	田中 歩	AKENO・SPEED	YZF-R6	1'35.212
24	72	川口 篤史	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR600RR	1'35.437
25	39	小倉 章太郎	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	1'35.488
26	58	熊谷 陽	PLIME・ガレージLINK	YZF-R6	1'35.759
27	40	嶋川 直宏	D;REX Racing Triumph	DAYTONA675R	1'35.834
28	59	梶田 博文	G!trax RSR三浦ポンプセンター	YZF-R6	1'35.840
29	13	高橋 颯	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'35.923
30	68	森 正和	QUEST保険職人MATO番長	DAYTONA675	1'36.417
31	36	松川 泰宏	MOTO BUM+SAI	CBR600RR	1'36.535
32	75	関 一正	club Tribe+T.R.P.	YZF-R6	1'36.745
33	57	飯島 高広	中村エンジン研究所	YZF-R6	1'36.931
34	47	佐久間 孝司	ワイズエンジニアリング	YZF-R6	1'37.048
35	60	遠藤 恵太	研友会PGレーシング	CBR600RR	1'37.086
36	44	松本 正幸	Teamマーキュリー&モトスト	ZX-6R	1'37.212
37	54	三浦 浩志	G!trax RSR三浦ポンプセンター	CBR600RR	1'38.015
38	102	阿部 徹郎	あべスピ・ヤマハ&ガレージL8	YZF-R6	1'38.245

------- 以上予選通過 -------
参加台数:38台　出走台数:38台
予選通過基準タイム（110%）1'40.691

J-GP3

●予選：天候／曇　路面／ウェット　出走35台
●決勝スタート／10:00（20周）

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	3		大久保 光	HotRacing	NSF250	1'34.605
2	1		山田 誓己	リベルトPLUSONE & ENDURANCE	NSF250R	1'35.040
3	35	y	伊達 悠太	犬の乳酸菌jp/プリミティブR.T&バトルF	NSF250R	1'35.593
4	19		古市 右京	KTMRACING・ASPIRATION	RC250R	1'35.861
5	31	y	岩戸 亮介	Club PARIS RSC	NSF250R	1'35.923
6	634	y	水野 涼	MuSASHiRTハルク・プロ	NSF250R	1'35.928
7	56		小室 旭	テルル&EM★KoharaRT	NSF250R	1'36.184
8	27	y	栗原 佳祐	CLUB HARC-PRO.	NSF250R	1'36.283
9	22	y	中山 翔太	TECHNICAwithKUSHITANI西宮	NSF250R	1'36.301
10	67	y	鳥羽 海渡	TEC2&TDA&NOBBY	NSF250R	1'36.389
11	15	y	山元 聖	P. MU 7C HARC	NSF250R	1'36.415
12	41		宇井 陽一	41Planning	Ioda	1'36.483
13	26		高杉 奈緒子	モトバムwithヒポポタマス	NSF250R	1'36.582
14	18		澁田 晨央	ウイダーHotRacing.If	NSF250R	1'36.600
15	7		徳留 真紀	Tome Team PLUSONE	NSF250R	1'36.643
16	33	y	作本 輝介	Club PARIS RSC	NSF250R	1'36.811
17	9	y	北見 剣	ウイダーHotRacing.If	NSF250R	1'36.813
18	10		菊池 寛幸	TEC2&TDA&NOBBY	NSF250R	1'36.945
19	30		岡崎 静夏	KoharaRacing	NSF250R	1'37.116
20	66		大内田 拓	DOGFISHオーテック・鈴鹿	NSF250R	1'37.165
21	46	y	長尾 健史	TEAMけんけんwithアポロ	NSF250R	1'37.259
22	39	y	伊藤 和輝	KoharaRacing	NSF250R	1'37.287
23	45	y	南本 宗一郎	P. MU 7C HARC	TSR3	1'37.308
24	14		安村 武志	犬の乳酸菌jp/プリミティブR.T	NSF250R	1'37.326
25	98	y	佐野 勝人	SRSJwithMORIWAKI	MD250GP3	1'37.726
26	88		Gerry Salim	Astra Honda Racing Team	NSF250R	1'37.741
27	93		畑中 要	FTR・タイヤナビ・(株)遠藤住宅	NSF250R	1'38.973
28	99		佐藤 正之	CLUBNEXT&MOTOBUM	NSF250R	1'38.996
29	57		内海 祐一	racingライドスポーツ	NSF250R	1'39.245
30	36	y	吉広 光	CLUBNEXT&MOTOBUM	TSR3	1'39.458
31	53	y	中山 愛理	TECHNICAwithKUSHITANI西宮	NSF250R	1'39.483
32	52	y	高谷 純平	TECHNICAwithKUSHITANI西宮	NSF250R	1'40.018
33	85		平子 剛志	クルーズレーシングチーム	NSF250R	1'40.029
34	38		野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	NSF250R	1'40.204
35	43		足立 眞衣	Honda ブルーヘルメットMSC.	NSF250R	1'41.948

------- 以上予選通過 -------
予選通過基準タイム（110%）1'44.066
y=YouthCup登録ライダー

INFORMATION

今年も全日本ロードレース完全無料放送!!「毎週月曜夜8時はバイクの時間」がキーワード!

2014年シーズンも全日本ロードレース選手権はシリーズ全戦をレース開催8日後に「BS12 TwellV（トゥエルビ）」で完全無料放送。現場ではカバーできなかったシーンや迫力のバトル、車載カメラによる映像など、あらためてお楽しみください!!

■放映スケジュール

第4戦SUGO　7月7日（月）　20:00〜20:54

MFJスーパーバイク公式Facebookページ開設!

https://www.facebook.com/superbike.jp

MFJスーパーバイク公式Facebookページを開設しました。
ファンサイトのニュースやインフォメーションでは伝えきれないこと、レースの現場からのリアルな情報など、お届けしたいと思います。